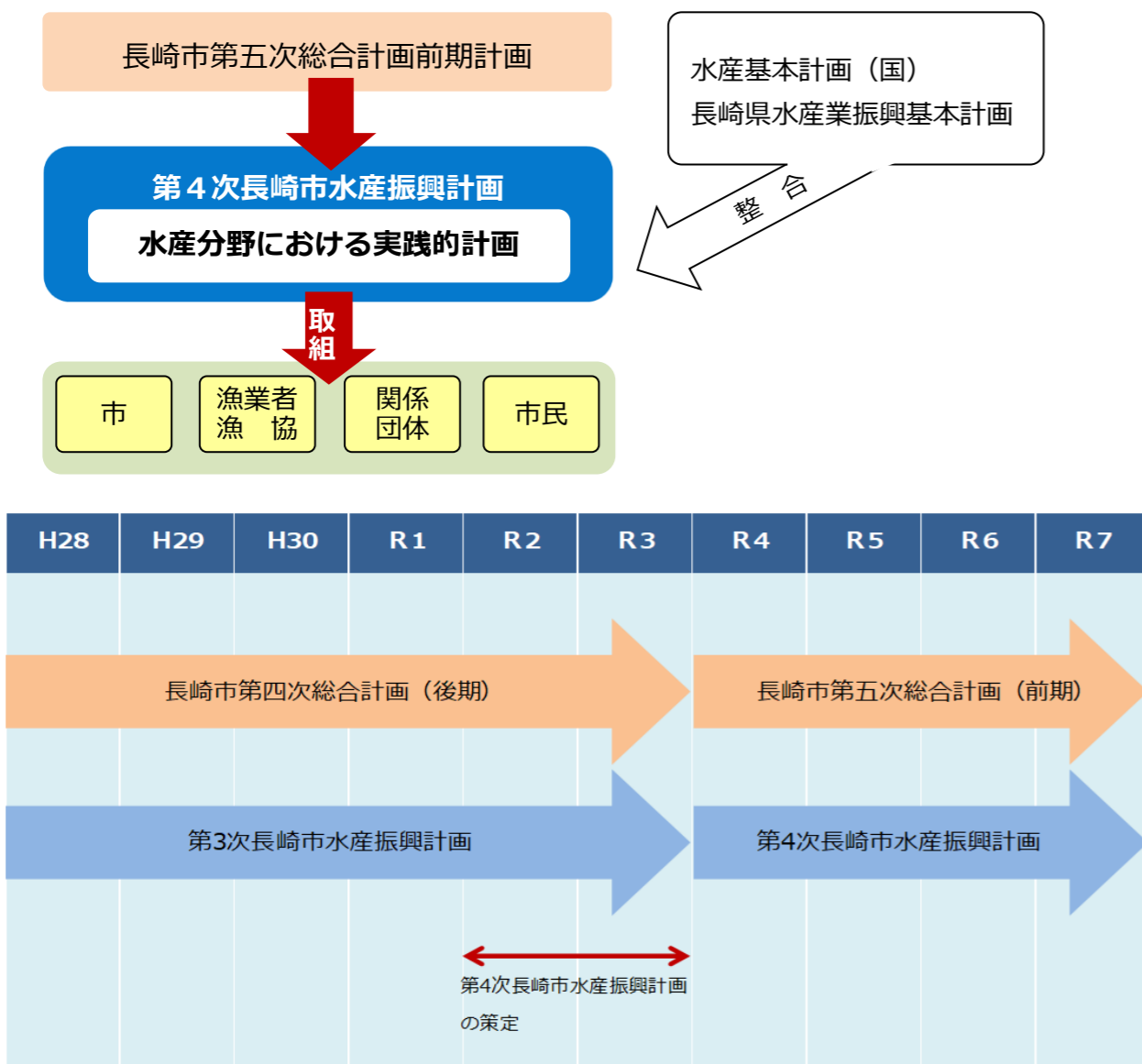


第4次長崎市水産振興計画 概要版

1 計画策定の主旨

- 水産資源の減少や水産業就業者の減少及び高齢化など、水産業を取り巻く情勢は依然として厳しい一方で、人口減少の加速化や環境変動による自然災害の激甚化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ICT等の活用によるスマート水産業の進展、SDGsの達成に向けた取組の推進など大きな変化も起きています。
- 国は、適切な資源管理と水産業の成長産業化の両立を目的に、約70年ぶりとなる漁業法の改正を行い、県は、令和3年3月に新たな長崎県水産業振興基本計画（令和3年度～令和7年度）を策定し、水産業を取り巻く状況変化に応じた新たな政策を進めることとしています。
- 長崎市においては、これらの状況や第3次長崎市水産振興計画の結果を踏まえ、水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にするため、『長崎市第五次総合計画前期計画』に基づいた長崎市の水産分野における実践的な計画として、『第4次長崎市水産振興計画』を策定しました。

2 計画の位置づけと計画の期間



3 第3次長崎市水産振興計画の達成状況

(1) 基本施策

- 沿岸漁業者1人当たりの漁業生産額：達成状況 やや遅れ
[基準値] 6,599千円 [目標値] 7,984千円 [実績値] 6,800千円 (R2年度)
- 市内で売られている水産物について新鮮さ、品数、価格に満足している市民の割合：達成状況 やや遅れ
[基準値] 84.1% [目標値] 86.1% [実績値] 82.7% (R2年度)
- 市内産水産物及び加工品購入率：達成状況 やや遅れ
[基準値] 49.6% [目標値] 50.2% [実績値] 49.2% (R2年度)
- 市内産の水産物販売額：達成状況 やや遅れ
[基準値] 54.4億円 [目標値] 54.4億円 [実績値] 46.7億円 (R2年度)

(2) 個別施策

I 安定した水産資源の管理・回復を図ります

- 漁場環境再生の取組を行う組織数：達成状況 順調
[基準値] 7組織 [目標値] 11組織 [実績値] 12組織 (R2年度)
- 放流魚種の漁業生産量：達成状況 順調
[基準値] 65t [目標値] 65t [実績値] 79t (R1年度)

II やる気、収益性アップの経営体づくりを進めます

- 新規漁業就業者数 [累計]：達成状況 遅れ
[基準値] 17人 [目標値] 29人 [実績値] 21人 (R2年度)
- 養殖業の生産量：達成状況 やや遅れ
[基準値] 986t [目標値] 1,154t [実績値] 1,105t (R1年度)

III 新たな販路拡大や消費拡大を図ります

- 市内農水産物直売所の売上額：達成状況 やや遅れ
[基準値] 30.7億円 [目標値] 31.8億円 [実績値] 30.1億円 (R2年度)

IV 長崎独自の食材や食文化の魅力を発信します

- 市内産水産物の市民認知度：達成状況 順調
[基準値] 83.6% [目標値] 87.4% [実績値] 88.2% (R2年度)
- 観光客を対象とした調査における「魚」の認知度：達成状況 順調
[基準値] 37.1% [目標値] 51.1% [実績値] 56.1% (R2年度)

V 食育体験を推進し、食に対する意識の醸成を図ります

- グリーンツーリズム体験プログラムの参加者数：達成状況 遅れ
[基準値] 6,315人 [目標値] 12,000人 [実績値] 4,409人 (R2年度)

4 計画の体系

第3次長崎市水産振興計画

基本施策	魚の美味しいまち長崎の強みを活かした水産業の発展
I	安定した水産資源の管理・回復を図ります
I-1	水産基盤の総合的・計画的な整備
I-2	有効な放流事業と適切な水産資源の管理による豊かな里海の再生
II	やる気、収益性アップの経営体づくりを進めます
II-1	安定した収益性の高い水産業経営の実現
II-2	収益性の高い養殖業の振興
II-3	水産物の付加価値を高める水産加工業の振興
III	新たな販路拡大や消費拡大を図ります
III-1	地元水産物の消費拡大の推進
IV	長崎独自の食材や食文化の魅力を発信します
IV-1	「長崎の魚」の魅力発信
V	食育体験を推進し、食に対する意識の醸成を図ります
V-1	食育体験の推進、食に対する意識の醸成

- 長崎市第五次総合計画
- 長崎県水産業振興基本計画
- スマート水産業の進展
- SDGsの達成に向けた取組の推進
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大
- 人口減少の加速化
- 環境変動による自然災害の激甚化
- 漁業法の改正

第4次長崎市水産振興計画

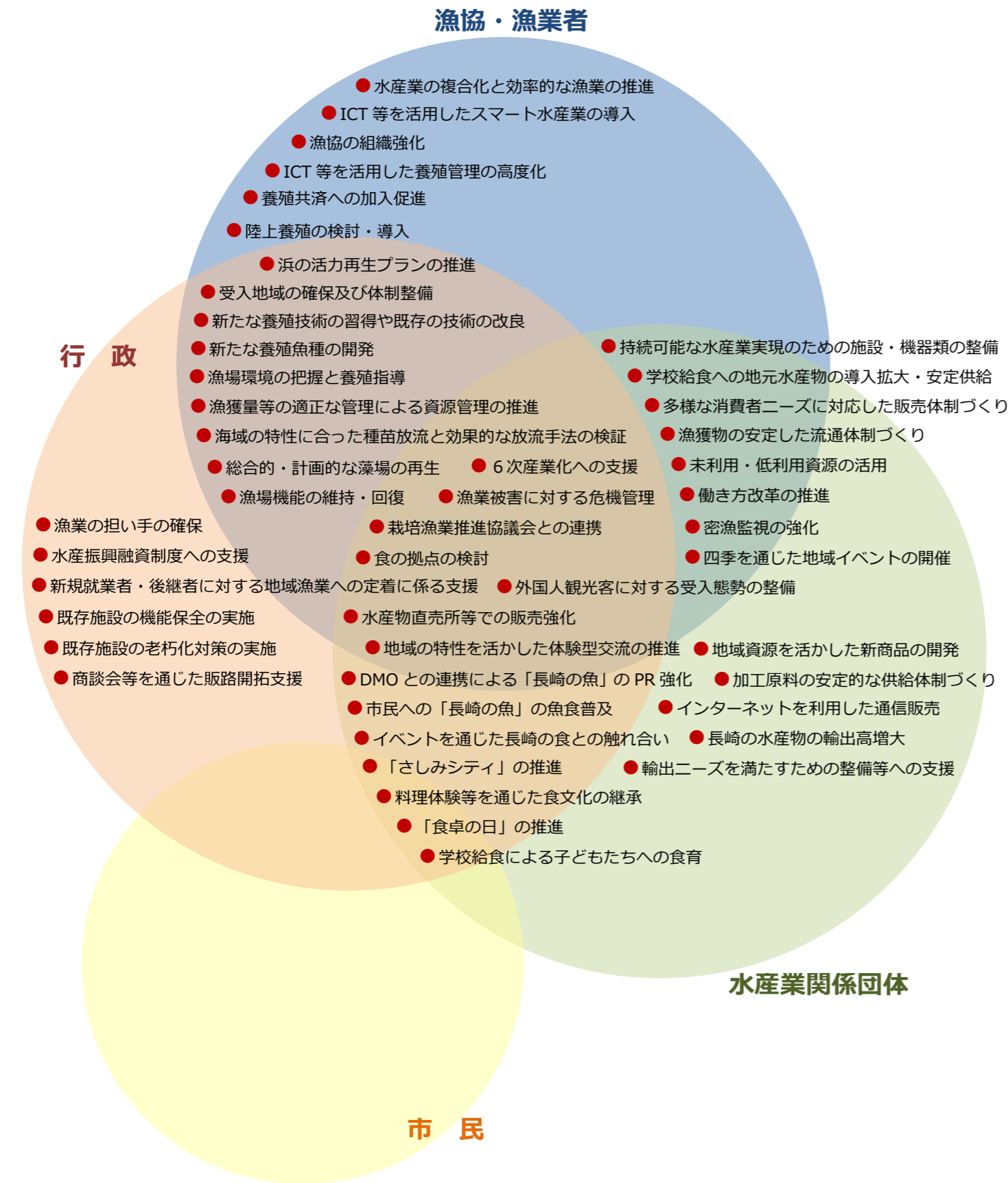
基本施策	水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします
I	水産業の生産性を高め、次世代を担う多様な経営体を育成します
I-1	環境変化に強い水産業経営の実現
I-2	成長する養殖業の実現
I-3	水産物の付加価値を高める水産加工業の振興
II	水産資源の管理・回復と機能性の高い漁港整備を進めます
II-1	水産資源の適切な管理と豊かな里海の再生
II-2	漁港施設の総合的・計画的な整備
III	新たな販路拡大や消費拡大を図ります
III-1	「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大
IV	長崎ならではの食材や食文化に対する意識の醸成を図ります
IV-1	長崎ならではの食材や食文化の発信

5 計画の成果指標

●基本施策	成果指標	基準値	目標値
水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	漁業生産量〔暦年〕	48,380 トン (H28-30年平均)	50,799 トン (R7年度)
	市内産の水産物販売額	46.7 億円 (R2年度)	60.7 億円 (R7年度)
	長崎市内で売られている水産物について新鮮さ、品数に満足している市民の割合	82.7% (R2年度)	82.7% (R7年度)
	市内産水産物及び加工品購入率	49.2% (R2年度)	50.7% (R7年度)

●個別施策	成果指標	基準値	目標値
I 水産業の生産性を高め、次世代を担う多様な経営体を育成します	新規漁業就業者数	12人 (R元年度)	15人 (R7年度)
	平均漁業所得〔暦年〕	1,800千円 (H27-R元年平均)	1,944千円 (R7年度)
	機器等の導入件数	20件 (R2年度)	30件 (R7年度)
	ICT等を活用したスマート水産業の取組件数	1件 (R2年度)	3件 (R7年度)
II 水産資源の管理・回復と機能性の高い漁港整備を進めます	漁場環境再生活動を行った海域の藻場の被度	43.9% (R元年度)	44.7% (R7年度)
	漁協取扱漁業生産量	8,739トン (R元年度)	8,739トン (R7年度)
III 新たな販路拡大や消費拡大を図ります	「長崎の魚」の観光客認知度	56.1% (R2年度)	66.1% (R7年度)
	市内農水産物直売所の売上額	28.9億円 (R元年度)	29.5億円 (R7年度)
IV 長崎ならではの食材や食文化に対する意識の醸成を図ります	市内産水産物の市民認知度	88.2% (R2年度)	88.2% (R7年度)

基本施策		水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします		
個別施策	取組方針	取組	具体的な取組	
I 水産業の生産性を高め、次世代を担う多様な経営体を育成します	I-1 環境変化に強い水産業経営の実現	I-1-① 次世代を担う強い経営体づくり	①浜の活力再生プランの推進 ②水産業の複合化と効率的な漁業の推進 ③ICT等を活用したスマート水産業の導入 ④持続可能な水産業実現のための施設・機器類の整備 ⑤漁業協同組合の組織強化 ⑥水産振興融資制度への支援	
		I-1-② 担い手の育成と雇用の維持	①受入地域の確保及び体制整備 ②漁業の担い手の確保 ③新規就業者・後継者に対する地域漁業への定着に係る支援 ④働き方改革の推進	
		I-1-③ 新たな流通販売の展開	①漁獲物の安定した流通体制づくり ②多様な消費者ニーズに対応した販売体制づくり ③6次産業化への支援	
	I-2 成長する養殖業の実現	I-2-① 効率的・先進的な養殖業への転換	①収益性の向上に繋がる新たな養殖技術の習得や既存の技術の改良 ②新たな養殖魚種の開発 ③ICT等を活用した養殖管理の高度化 ④陸上養殖の検討・導入	
		I-2-② 養殖漁場の環境改善	①漁場環境の把握と養殖指導	
		I-2-③ 災害に負けない経営体づくり	①養殖共済への加入促進 ②漁場被害に対する危機管理	
	I-3 水産物の付加価値を高める水産加工業の振興	I-3-① 加工原料の安定確保	①加工原料の安定的な供給体制づくり ②未利用・低利用資源の活用	
		I-3-② 消費者ニーズに対応した商品開発と販売体制	①地域資源を活かした新商品の開発 ②インターネットを利用した通信販売	
	II 水産資源の管理・回復と機能性の高い漁港整備を進めます	II-1 水産資源の適切な管理と豊かな里海の再生	II-1-① 持続的な水産資源の維持・管理	①漁獲量等の適正な管理による資源管理の推進 ②密漁監視の強化 ③海域の特性に合った種苗放流と効果的な放流手法の検証 ④栽培漁業推進協議会との連携
II-1-② 漁場環境の保全・再生			①総合的・計画的な藻場の再生 ②漁場機能の維持・回復	
II-2 漁港施設の総合的・計画的な整備		II-2-① 漁港施設の整備	①既存施設の機能保全の実施 ②既存施設の老朽化対策の実施	
III 新たな販路拡大や消費拡大を図ります	III-1 「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大	III-1-① 官民一体となった「長崎の魚」の魅力発信	①「さしみシティ」の推進	
		III-1-② 「長崎の魚」の観光資源としての顕在化	①DMOとの連携による「長崎の魚」のPR強化 ②食の拠点の検討 ③外国人観光客に対する受入態勢の整備	
		III-1-③ 国内における「長崎の魚」の消費拡大	①商談会等を通じた販路開拓支援 ②水産物直売所等での販売強化 ③四季を通じた地域イベントの開催 ④学校給食への地元水産物の導入拡大・安定供給 ⑤市民への「長崎の魚」の魚食普及	
		III-1-④ 安全・安心な水産物の輸出促進	①長崎の水産物の輸出高増大 ②HACCP等の輸出ニーズを満たすための整備等への支援	
IV 長崎ならではの食材や食文化に対する意識の醸成を図ります	IV-1 長崎ならではの食材や食文化の発信	IV-1-① 体験による食文化への理解の推進	①料理体験等を通じた食文化の継承 ②地域の特性を活かした体験型交流の推進	
		IV-1-② 多様な主体の参画による食に対する意識の醸成	①「食卓の日」の推進 ②学校給食による子どもたちへの食育 ③イベントを通じた長崎の食との触れ合い	



SDGsの17の目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
個別施策と取組方針	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	
基本施策	水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします																	
個別施策 I	水産業の生産性を高め、次世代を担う多様な経営体を育成します																	
取組方針 I-1 環境変化に強い水産業経営の実現		●						●	●					●				
取組方針 I-2 成長する養殖業の実現		●						●	●					●				
取組方針 I-3 水産物の付加価値を高める水産加工業の振興								●	●					●				
個別施策 II	水産資源の管理・回復と機能性の高い漁港整備を進めます																	
取組方針 II-1 水産資源の適切な管理と豊かな里海の再生									●			●		●				
取組方針 II-2 漁港施設の総合的・計画的な整備									●			●		●				
個別施策 III	新たな販路拡大や消費拡大を図ります																	
取組方針 III-1 「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大								●	●			●		●			●	
個別施策 IV	長崎ならではの食材や食文化に対する意識の醸成を図ります																	
取組方針 IV-1 長崎ならではの食材や食文化の発信		●		●														●